



Press Release

2021年度 小・中学生

「いのち」の作文コンクール

開催のお知らせ

「いのち」をテーマにした作文を募集します！！

「公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団」は、2009 年 4 月 1 日に設立して以降、「安全で安心できる社会づくり」の一端を担いたいという思いから「いのち」に関わる事業を展開してまいりました。

「いのち」を大切にする社会づくりに少しでもつながればとの思いを込め、「いのち」をテーマにした「小・中学生『いのち』の作文コンクール」を本年度も開催いたします。

将来を担う子どもたちに、「いのち」についての作文をつくることを通じて、「いのち」の大切さを考えていただく機会を提供できればと考えています。コロナ禍の中、「いのち」により一層深く向き合い 見つめてみてはいかがでしょうか。多数の応募をお待ちしています。

◎テ — マ：あなたにとっての「いのち」

「いのち」の誕生の喜びや失った悲しみ、「生きる」ことの楽しさや辛さなど、さまざまな観点からの作品を募集します。

◎テ — マ 例：～身近な体験を通して感じた「いのち」～

- ・ 弟や妹が生まれた体験、自分や家族が病気になって入院した体験
- ・ ペットを育てたり、草花を栽培した体験 など

～本やテレビ、インターネットなどを通して感じた「いのち」～

- ・ いのちを守るために懸命に働いている人の姿
- ・ 病気や大きな災害など困難と闘いながら頑張っている人の姿
- ・ 新型コロナウイルスにより「あたりまえ」の生活ができなかったことで感じた「いのち」 など

～さまざまな形の「いのち」～

- ・ 海や山の景色、太陽や夜空の星など、自然の中で感じた「いのち」
- ・ 人工知能やロボットなど、最新の科学技術の中で感じた「いのち」 など

◎募 集 対 象：近畿2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）に在住・在学の小・中学生

◎募 集 期 間：2021 年 7 月 1 日（木）～9 月 9 日（木）当日消印有効

◎募 集 内 容：原稿用紙（400 字詰め）

- ・ 小学生 1～4 年生：1～2 枚
- ・ 小学生 5～6 年生：1～3 枚
- ・ 中学生 2～4 枚

◎表彰：

(1) 個人賞：入賞者に表彰状および副賞（図書カード）を贈呈します。

	いのちの作文大賞 (5 万円分)	優秀賞 (1 万円分)	入選 (3 千円分)	計
小学1～2年生	1人	26人	70人程度	100人程度
小学3～4年生	1人			
小学5～6年生	1人			
中学生	1人			

※優秀賞受賞者の中から優れた作品や着想豊かな作品に「選考委員長賞」を若干名授与します。

※表彰式は優秀賞以上の受賞者にご案内いたします。

(2) 参加賞：応募者全員に贈呈します。

(3) 作品集：入賞者および学校単位で応募した学校に贈呈します。

◎最終選考委員：委員長 重松清氏（作家）

副委員長 菊池省三氏（教育実践研究家）

委員 柏木哲夫氏（大阪大学名誉教授、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長）

坂下裕子氏（こども遺族の会「小さないのち」代表）

丸川征四郎氏（吹田徳洲会病院 顧問、近畿大学医学部客員教授）

※柏木氏、坂下氏、丸川氏の3名は当財団理事

◎広報物デザイン：永田萌氏（株式会社妖精村、京都市こどもみらい館 館長、姫路市立美術館 館長）

◎主催：公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団

◎協力：西日本旅客鉄道株式会社

◎後援：滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、京都市教育委員会、大阪府教育委員会
大阪市教育委員会、堺市教育委員会、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会
奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社
産経新聞社、神戸新聞社、京都新聞、大阪日日新聞
京都大学こころの未来研究センター、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

◎その他：詳しくは J R 西日本あんしん社会財団のホームページをご覧ください。

<https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2021/>



【参考】

2020 年度の「小・中学生『いのち』の作文コンクール」の応募実績は以下のとおりです。

(作品数)

	小学生	中学生	合計
作品数	1,665	4,101	5,766